



(上) ためきになりきって、歌とかわいい踊りを披露する、なかはま保育所スマイルエンゼル(左)二胡の美しい音色が会場に響く。(下) 本町保育所本町クッキーーズが、元気いっぱいに歌う「せんろはつづくよどこまでも」



6/29



(右) 一生懸命歌う、ABEATクラブ(クラシックパレエコース)。その姿に会場は笑顔に包まれた。(下) 立戸保育所ハッピーフレンズが、息の合った振付で会場を盛り上げる。



**元気いっぱい
歌って踊る**
アゼリアホール

子どもから大人まで参加する、「童謡みんなで歌いましょう」が、6月29日にアゼリアホールで開催された。オープニングをつとめたのは二胡奏者の今井美樹さん。華やかな演奏に会場が魅了された。そして、松ヶ原こども館ほのぼの合唱団を皮切りに、17のグループが出演し、それぞれの歌や踊りで会場を沸かせた。



(上) 大きな口でパワフルな歌声を会場に響かせた、大竹保育所パワフルばんだ(右)ほのぼの合唱団がトップを飾った。



6/12



(右・下) チラシとティッシュを積極的に配る、大竹高校生徒会のメンバー



薬物乱用 ダメ。ゼットイ。

大竹駅前

青少年を薬物による被害から守ろうと、6月12日の朝、大竹駅前では薬物乱用防止キャンペーンが行われた。

当日は大竹高校生徒会、警察署、少年補導員連絡協議会が共同して、通勤、通学者に「ダメ。ゼットイ。覚せい剤・大麻・MDMA等の薬物乱用をなくそう!」と書かれたチラシとティッシュ300組を配り、薬物乱用防止を訴えた。

生徒会の大屋茜さん(2年)と中山莉瑚さん(2年)は「薬物使用で未成年の人が事故を起こしている。このキャンペーンを期に、未成年の人が薬物を使用しなくなってほしい」と話していた。

多文化共生への第一歩は「食」

総合市民会館

6/15

当日は、あいにくの雨だったが、申し込みのあった21人全員が参加した国際料理教室。参加者は、ウクライナ出身の講師ナターリヤさんの指導のもと、大きい餃子のようなチェブレキとお祝いの時などに食べるサラダ「オリビエ」を楽しそうに作っていた。

初めて参加した岩本佑士さん(29歳 黒川1)は、「広報を見て、普通の料理教室と違い、外国人講師で面白そうだなと思い、妻と子どもの3人で参加しました。料理を通じて他国の文化に触れることができ良かったです。料理も、意外になじみやすい味で、おいしくいただきました。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います」と笑顔で話してくれた。



(上) 講師のナターリヤさん指導のもとチェブレキの生地づくり。赤ちゃんも真剣に、国際交流。(右) 麦で作ったウクライナの民芸品。魔除けの効果があるとのこと。(下) サクッとした食感に、ジュワッと広がる肉汁、大きい揚げ餃子のようなチェブレキに、さっぱりとした味わいが夏向けのオリビエサラダ。

オリビエサラダレシピ

- 材料(5人分) ジャがいも(3個)・にんじん(1個)・たまねぎ(1/4個)・冷凍グリーンピース(250g)・卵(2個)・ポローニャソーセージ(50g)・ピクルス(150~200g)・マヨネーズ(大さじ4)・塩・こしょう(少々)
- 作り方①ジャがいも、にんじんを水洗いし皮ごとゆでる。串を刺して、火が通っていればザルにあげ、冷ます。②卵はゆでて、冷水にしばらくつける。③冷凍グリーンピースを塩水で10分ほどゆでて冷やす。④玉ねぎは角切りにして、水にさらしておく。⑤野菜、ソーセージ、ゆで卵、ピクルスは角切りにして、ボールに入れ、グリーンピース、マヨネーズを加えて、塩・こしょうで味を調べて、よく混ぜたら出来上がり。



7/6

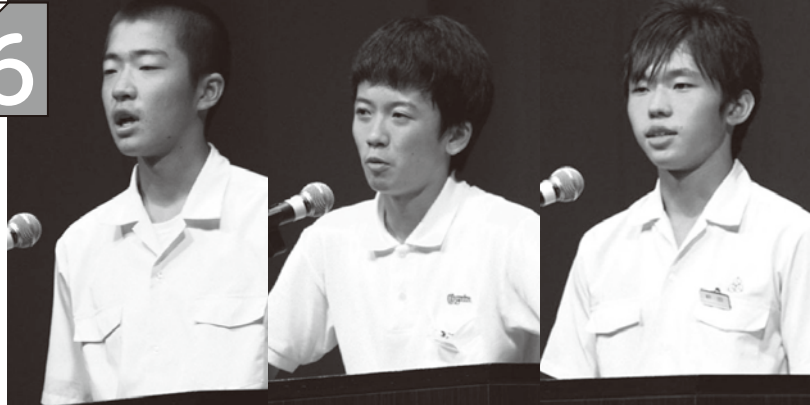
青少年を地域で守って育てよう

アゼリアホール

7月6日に「青少年非行・被害防止」並びに「社会を明るくする運動」全国強調月間として、「市民のつどい」が開催された。

集まった約500人の参加者の前で、中学校を代表して、岡野隼己さん（玖波中3年）は伝統の挨拶を引き継ぐ重要性を、園田昌弘さん（小方中3年）は努力することの重要性を、柘田泰輝さん（大竹中3年）は伝統の体育祭で鯉昇竹中音戸を引き継いでいく重要性を、それぞれ熱弁した。

講演では、広島県警察本部サイバー犯罪対策課の新庄洋さんが、「ネット社会の危険について」と題して、映像や事例などを含めてわかりやすく論じた。オープニングでは、更生保護女性会による「ひまわりの譜」の合唱があった。



玖波中3年 岡野隼己さん
「あいさつでつながる玖波中
～先輩の意志を受け継いで～」

小方中3年 園田昌弘さん
「明るく生きる」

大竹中3年 柘田泰輝さん
「地域とつながり、明るい町づくり～体育祭の取り組みをとおして～」

7/6



（右上）講師のルイズさんの横で、通訳に奮闘する船越さん。（右下）参加者で会場がいっぱいに。（上）講演後に英語で楽しく会話する講師のルイズさんと築地さん。



オーストラリアの魅力に興味津々

ギャラリーおおたけ

外国の文化や歴史などを理解する機会として、毎年行われている国際理解講演会。大竹国際交流協会が主催し、59人の参加があった。

今回は、「オーストラリアの魅力」と題して、オーストラリア出身のルイズ ティンデルさんが、故郷のさまざまな観光地や歴史、言葉などを紹介。広報紙を見て参加したという築地奈生さん（玖波中2年）は「グレートバリアリーフなどのオーストラリアの観光地に興味があり、参加しました。同じ英語圏でも、違う言葉があるのには驚きました。ヨーロッパやアフリカなどの国にも興味があるので、機会があれば、また参加したいです」と笑顔で感想を話してくれた。

「きを（お）つけよう」
 き 喫煙しない
 を（お）お店の物を取らない
 つ 罪を許さない
 け けんかをしない
 よ 夜遊びしない
 う うそをつかない

7/10



「きを（お）つけよう」を
 身につけよう
 大竹小学校

子どもたち一人一人が気をつけて、非行を防いでもらおうと、非行防止合言葉「きを（お）つけよう」のパネルが少年補導協助力連絡協議会から市内4小学校に贈呈された。
 7月10日に大竹小学校で行われた贈呈式では、石井校長と児童会のメンバーがパネルを受け取った。
 児童代表の橋村華（6年）さんは、「きを（お）つけようを守り、安全に楽しく生活できるように頑張ります」と話していた。